

丸紅グループ大豆調達方針

丸紅グループは、環境・社会課題の解決に貢献するために、「サプライチェーンにおけるサステナビリティ基本方針」に基づき、持続可能で強靱なサプライチェーンの構築と、取引先との協働による持続可能な社会の構築を目指し取り組んでいます。

丸紅グループは、大豆の生産においては、生産地の拡大を目的とした違法伐採や、農園開発等による森林減少とそれに伴う生物多様性の喪失等環境面での影響、および労働者の権利や地域住民への人権侵害など社会面の影響等、様々なリスクがあることを認識しています。また、大豆の調達に際し、持続可能性に向けた取り組みを行うことや社会的責任を果たすことが重要だと考えています。

こうした認識のもと、大豆の調達における環境・社会課題への取り組み方針として、「丸紅グループ大豆調達方針」を制定しました。私たち丸紅グループは、持続可能で強靱な大豆のサプライチェーン構築を目指し、今後も取引先と協働のうえ、「丸紅グループ大豆調達方針」に基づいた取引に努め、大豆の調達における持続可能性の向上に貢献してまいります。また、本方針の実現のため、サプライチェーンにおける各ステークホルダーとの連携・協働に努めていきます。

対象

丸紅グループが契約当事者として調達を行う大豆取引^(※)

(※) 丸紅グループが売買契約当事者とならない、ブローキング・倉庫保管のみの取引形態は対象外とする

取り組み方針

- ・森林破壊や違法な森林伐採によって開拓された農地で生産された大豆の調達を行わない。
- ・児童労働や強制労働などの人権侵害に関わっているリスクのある大豆の調達を行わない。
- ・大豆生産地における先住民、地域コミュニティの権利を尊重する。
- ・事業を展開する国や地域の法令および国際法令を遵守する。
- ・大豆に関わるサプライヤーに本方針を通知し、遵守を求める。

丸紅グループは、持続可能な大豆調達を促進するため、調達する大豆サプライヤー向けの調査を実施していきます。調査の結果、持続可能性に関する課題を認識した際には、サプライヤーと協業の上で解決に取り組めます。